

まちを耕し、ひとを育む



Ishinomaki
Kawanokami
Project

イシノマキ・
カワノカミ大学 #003

ファンが創る まちづくり

～図書館という広場が未来をつくる～

講師

花井 裕一郎

YUICHIRO HANAI / OBUSERHYTHM CEO

NPO法人才オブセリズムCEO

小布施町立図書館まちとしょテラソ前館長

イシノマキ・カワノカミ大学では、第一線でご活躍の講師をお迎えし、まちづくりの「種」になるご講演をいただきます。#003では、まちづくりの成功事例である「小布施」、その核となる図書館「まちとしょテラソ」(Library of the Year 2011の大賞)の初代館長でもあり、現在は、小布施を拠点としながらNPO法人才オブセリズムのCEOとして、図書館をはじめ、まちづくり活動の拠点となる文化施設(美術館・博物館・文書館等)をワクワクする場として、まちが元気になるようにアドバイス及び運営支援、地域の活性化を積極的に行っていらっしゃる花井裕一郎先生をお招きし、「ファンが創るまちづくり～図書館という広場が未来をつくる～」と題してご講演いただきます。

1962(昭和37)年、福岡県・筑豊に生まれる。小布施町在住。演出家。小布施町立図書館まちとしょテラソ前館長。NPO法人才オブセリズムCEO。1989年～1994年、フジテレビジョンにて番組演出。1994年～1996年、NHK、TBS、日本テレビ、東芝EMIにて番組、PVの演出。2000年より長野県小布施町を拠点とする。2002年、小布施町文化事業部長に就任。2003年～2009年「60秒シネマコンペティション」事務局担当。2007年より「おぶせTシャツ祭」ディレクター。2007年12月～2009年7月、小布施町立図書館館長として新図書館準備室勤務。2009年7月～2012年11月、小布施町立図書館「まちとしょテラソ」館長。「ないのにある」=「存在そのものは目に見ることが出来ないが、そこにはエネルギーが存在する」ことを体感しながら、本来の人間の姿・生き方を模索し、創作活動を展開。主な映像作品は、[中田久美 密着400日](1992)、NY、ブラジル、ジャマイカ、エルト・リコ、ドミニカ共和国、キューバ等の音楽ドキュメンタリービデオ演出(1996～2001)、ROEN MOVIES[2001]、OBUSSESSION MOVIES[2001～2007]、ドキュメンタリー「カカオロード～歴史に刻まれた生命の糧～」[監督、2004]、THE MODS 「LIVE WITH ROCK'N'ROLL」プロモーションビデオ[2004]、著書「はなほん～ワクワク演出マネジメント～」(文屋)、共著「明日をひらく図書館：長野の実践と挑戦」(青弓社)関連図書「しあわせな仕事の見つけ方、つくり方～共感・応援の時代の仕事道～」(ワニプラス、久米信行著)

2013年11月30日 土

受付 16:00

第1部 セッション 17:00～19:00

第2部 懇親会 19:10～

[会場] 川の上・百俵館(三浦家敷地内)
宮城県石巻市小船越字山畠343-1

[参加費] 2,500円(懇親会代・講演会無料)

[主催] 石巻・川の上プロジェクト
090-8310-8783(担当:三浦)
<http://kawanokami.com>

定員
1500円(税別)
015001
0905552-7655
555276



FAX申込書

イシノマキ・カワノカミ大学 事務局宛

お問い合わせ : 090-8310-8783 (担当 : 三浦)

ご芳名(フリガナ)

年齢

才

ご住所(フリガナ)

〒

E-mail



()

-

ご出席の場合は、FAXもしくはWEB／Eメールにてお申込みください。お申込み締め切りは、11月23日(日)とさせていただきます。
なお、お席には40席と限りがございます。満席になり次第締め切らせていただきますので、お申し込みはお早めにお願いいたします。

Eメールでのお申し込み

→ info@kawanokami.com

Webからのお申し込み

→ <http://kawanokami.com>

イシノマキ・カワノカミ大学の考え方

わたしたちは、石巻・川の上で、豊かな暮らしど地域のモデルをつくるには、どうしたら良いのか長年考えてきました。石巻のまちは、バブル崩壊以降、衰退の一途を辿っていました。そして、2011年3月11日、東日本大震災と未曾有の津波が石巻地域を襲いました。まさに石巻の危機といえます。とはいえ、文明的な危機的状況に対して、国がおこるも、ほろびるも、まちが栄えるも、衰えるも、ここごとく「ひと」にあります。

石巻・川の上プロジェクトでは、新しい石巻・川の上、日本を生み出すべく、旧大谷地農協の米蔵跡地から「米俵百俵」の精神で、「ひとづくり」をはじめます。米俵百俵は、今は、ただの百俵ですが、後年には一万俵になるか、百万俵になるか、はかりしれない可能性を秘めています。危機に置かれた今だからこそ、教育が必要なのです。100年先、300年先の石巻・川の上の未来に思いを馳せて、世界に誇れる豊かな暮らしど地域のモデルをつくるため、まちを耕し、ひとを育んでいきます。

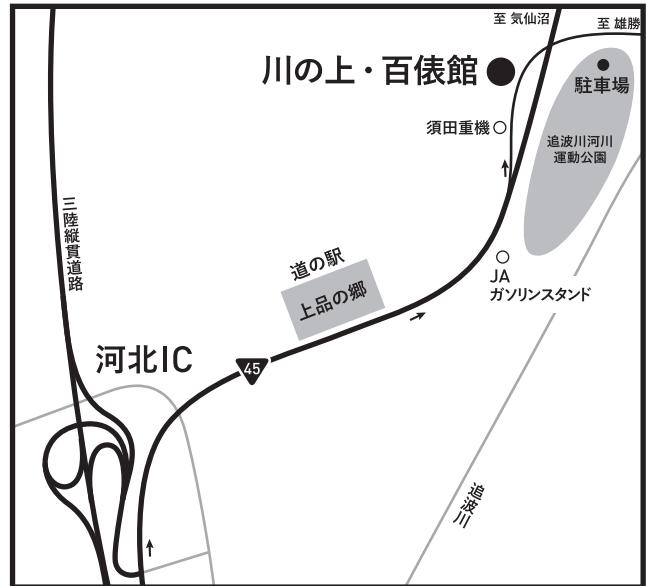
米俵百俵の精神

戊辰戦争後、長岡藩は窮窮していました。そこへ支藩の三根山藩からお見舞いとして米俵が届きました。これを小林虎三郎は、「食えないからこそ、学校を建てて人材を育てるのだ」という信念を貫き、皆の反対を押し切って「國漢学校」を建てました。それが長岡の復興に繋がってきました。

懇親会でのお料理について

懇親会では、テレビ朝日「みんなの食堂～絶対に残したい！しあわせな味～」という番組で取り上げられた、石巻漁港の丸魚食堂(津波で被災)の亀山寿子さんから三陸・海の幸料理、また、石巻の酒蔵が醸造する日本酒なども振舞われる予定です。

会場へのアクセス



- ①三陸縦貫道路・河北ICを出て、国道45号線を気仙沼方面に向かいます。
- ②道の駅「上品の郷」をすぎると、右手にJAのガソリンスタンドがあります。
- ③さらに50Mくらい走り、左手に雄勝方面へ行く側道が出てくるので、国道45号線から側道に入ります。
- ④側道に入ると、須田重機さんの看板が出てくるのでそこを通り過ぎ、白い塀と門が見えます。そこが百俵館です。

なお、お車でお越しの方は、追波川河川運動公園の駐車場をご利用ください。百俵館を通り過ぎるとトンネルがあります。そこを通り抜けると、追波川河川運動公園の駐車場があります。